

新庄市大町地区空き家対策推進計画
(実施主体：一般社団法人温故知新)

1. 計画の目的

- (1) 一般社団法人温故知新は、新庄市大町地区のエリアマネージャーとして、「エリア内の空き家の把握」・「地域住民との連携」を通して、「建物の利活用」や「早期の空き家流通」を促進し、地域活性化および地域価値向上に寄与する。
- (2) また、当該地域は、商業地域・近隣商業地域・第一種住居地域に跨ることから、単なる空き家の住居利用に留まらず、空き店舗活用等も含んだ多角的な活性化を当面のビジョンとする。
- (3) 新庄市においては、「東北農林専門職大学（仮称）の開校（令和6年度）」、「製造業等に従事する外国人技能実習生の増加見込」等から、若者の定住人口・交流人口の増加局面を迎えることが期待される。そうしたなかで、昔ながらの街並み・文化を温存しながらも、快適に居住できるスペースを設け、かつ当該地域ににぎわいを持たせる施策を実施することで、住民同士の交流による様々なシナジー効果をもたらす仕組みを構築する。
- (4) 上記の実現に際して、当社の強みである不動産業・建設業を基に、住民・行政と連携し、協力業者と共に空き家問題に係る川上から川下までの包括的な活動を実践する。

2. 計画エリア

活動エリアは、新庄市内の大町地区とする（別添資料のとおり）。

3. 活動目標

- (1) 空き家の実態把握、住民意見吸い上げによる行政と地域住民の橋渡し
- (2) 空き家リノベーション等による快適な住居の供給に係る実践
- (3) 地域のにぎわい創出に寄与する施策の検討および実施

4. 活動計画

令和4年度：大町地区の空き家の実態把握調査（基礎調査）

大町地区の住民との意見交換の場の作成準備

個別の空き家リノベーション、施策検討

令和5年度：大町地区の住民との意見交換

空き家利活用の企業ニーズ、民間ニーズのヒアリング調査

個別の空き家リノベーション、施策実施

令和6年度：経過年度活動のPDCAサイクルによる検証、施策実施

次年度以降の活動計画策定

5. 活動体制

代表者：一般社団法人温故知新 代表理事 八鍬 淳

事務局：同上

協力事業者：株式会社 JPD（助言、PR デザイン等）

株式会社新庄開発センター（不動産業）

株式会社ヤマムラ一級建築士事務所（建築士事務所）

株式会社ヤマムラ（建設業、宅建業）

以 上

（備考）

1. 計画エリアは、市町村の一部を対象とする場合町名を列記すること。（別添可）
2. 計画エリア図を添付すること（サイズは A4 版又は A3 版折り込みとする）
3. 活動計画は、おおむね 3 年以上の計画を記載すること。

